

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第 12 条、法施行規則第 56 条）

〔PCT 36 条及び PCT 規則 70〕

REC'D 10 MAR 2006

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 04P00113	今後の手続きについては、様式 PCT/ I P E A / 4 1 6 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/ J P 2 0 0 5 / 0 0 1 8 5 5	国際出願日 (日. 月. 年) 0 8 . 0 2 . 2 0 0 5	優先日 (日. 月. 年) 2 6 . 0 2 . 2 0 0 4
国際特許分類 (I P C) Int.Cl. B41J11/04(2006. 01), B41J11/00(2006. 01)		
出願人 (氏名又は名称) セイコーインスツル株式会社		

- この報告書は、PCT 35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第 57 条 (PCT 36 条) の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
 - ☒ 附属書類は全部で 1 ページである。
 - ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT 規則 70. 16 及び実施細則第 607 号参照)
 - ☐ 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
 - ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
(実施細則第 802 号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第 II 欄 優先権
- ☐ 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第 IV 欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第 V 欄 PCT 35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第 VI 欄 ある種の引用文献
- ☐ 第 VII 欄 国際出願の不備
- ☐ 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 0 4 . 1 1 . 2 0 0 5	国際予備審査報告を作成した日 2 2 . 0 2 . 2 0 0 6	
名称及びあて先 日本国特許庁 (I P E A / J P) 郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 永石 哲也	3 B 3 3 1 7
電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 3 2 0		

様式 PCT/ I P E A / 4 0 9 (表紙) (2005 年 4 月)

第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
- ☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
- ☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
- ☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1 - 7 _____ ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの

第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 1, 3 - 5 _____ 項*、04.11.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1 - 5 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ

☒ 請求の範囲 第 2 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1, 3-5	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲	4	有
	請求の範囲	1, 3, 5	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1, 3-5	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

- 文献1: J P 7-237324 A (株式会社タムラ製作所) 1995.09.12,
【0012】-【0026】(ファミリーなし)
文献2: J P 3-118173 A (シャープ株式会社) 1991.05.20,
第3頁右上欄10行-12行及び左下欄1行-4行(ファミリーなし)
文献3: J P 2003-162070 A (富士写真フイルム株式会社)
2003.06.06, 【0135】(ファミリーなし)
文献4: J P 2000-301784 A (株式会社サトー) 2000.10.31,
【請求項1】及び【0013】(ファミリーなし)
文献5: J P 8-156350 A (セイコーエプソン株式会社) 1996.06.18,
【0017】(ファミリーなし)

請求の範囲1及び3に対して

請求の範囲1に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1ないし3により進歩性を有しない。

文献1と2の発明はサーマルプリンタの駆動機構という点で同一の技術分野に属する。文献1の発明において、文献2に記載の支軸を一体に成形する点を適用することは当業者にとっては自明のものである。

また、文献3には、プリンタの部品をマグネシウム合金やチタン合金等の材料を用い、ダイキャスト成形で作成する点が開示されている。

したがって、文献1の発明において、支軸を一体に成形する際に、マグネシウム合金やチタン合金等の材料を用い、ダイキャスト成形で行うことを採用し、請求の範囲1及び3に記載された発明とすることは当業者にとっては自明のものである。

請求の範囲4に対して

プリンタにおいてプラテンローラを回転駆動するモータの位置決めを行うため、モータを取り付けるフランジ部材に、歯車取付部材と一体的に成形された歯車支軸の先端に係合する係合溝を設ける点は、国際調査報告で引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

請求の範囲5に対して

請求の範囲5に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1-5より進歩性を有しない。文献4、5には、複数の発熱体を配列したサーマルヘッドが開示されている。

請求の範囲

1. (補正後) 記録紙を搬送するプラテンローラと、前記プラテンローラに対向するように配置された印字ヘッドと、前記プラテンローラを回転駆動するための駆動ユニットと、前記プラテンローラを回転自在に軸支可能な一对の側壁部を有するメインフレームと、を少なくとも備えるプリンタにおいて、
前記駆動ユニットは、モータと、モータの回転駆動力を前記プラテンローラに伝達する中間歯車と、前記中間歯車を支持する歯車支軸を一体的に成形され合金材料のダイキャスト加工により形成された歯車取付部材と、で構成され、前記歯車取付部材に前記モータおよび中間歯車を取り付けて位置決めした状態で前記メインフレームに取り付け可能で、前記モータの駆動歯車および前記中間歯車は前記歯車取付部材と前記メインフレームの片側側壁により形成される空間に収納されることを特徴とするプリンタ。
2. (削除)
3. (補正後) 前記合金材料は、亜鉛合金、マグネシウム合金またはチタン合金であることを特徴とする請求項 1 に記載のプリンタ。
4. (補正後) 前記モータはフランジ部材を介して前記歯車取付部材に取り付けられ、前記フランジ部材は前記歯車支軸の先端に係合する係合溝を有することを特徴とする請求項 1 または 3 に記載のプリンタ。
5. (補正後) 前記印字ヘッドは、複数の発熱体を一方向に配列されたサーマルヘッドであることを特徴とする請求項 1 または 3 または 4 に記載のプリンタ。